

平成7年度畜水産食品の残留物質モニタリング検査結果について

厚生省生活衛生局乳肉衛生課 専門官 温泉川肇彦

1 目的

食用に供される家畜、養殖魚介類等に対して、生産段階で使用される動物用医薬品及び飼料添加物が食肉、魚介類等の畜水産食品に残留している実態を把握し、適切な行政対応を図るため、畜水産食品について輸入品及び国産品の別に検査を実施した。

2 検査結果の概要

(1) 輸入畜水産食品

① 検査対象物質

抗生物質、合成抗菌剤及び有機塩素系農薬の計16品目

② 検査対象食品

食肉（牛肉、豚肉、馬肉、羊肉及び鶏肉）、養殖魚介類（ウナギ、エビ及びサケ・マス）及び液卵

③ 検査実施機関

輸入時に検疫所においてサンプリングを実施し、横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター及び神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター及び検査課において検査を実施した。

④ 検査時期

平成7年5月31日～8年3月31日

⑤ 検査結果

別表1の通り

⑥ 措置等

合成抗菌剤の検出された輸出国の当該品については、輸入時の検査を強化するとともに、輸出国に残留防止対策の実施を要請している。

(2) 国産畜水産食品

① 検査対象物質

抗生物質、合成抗菌剤及び有機塩素系農薬の計16品目

② 検査対象食品

食肉（牛肉、豚肉及び鶏肉）、養殖魚介類（ウナギ、マダイ等11魚種）、鶏卵及びハチミツ

③ 検査実施機関

都道府県、政令市及び特別区の食肉、養殖魚介類等の流通拠点を管轄する食肉衛生検査所、市場食品衛生検査所等において検査を実施した。

④ 検査時期

平成7年6月1日～8年3月31日

⑤ 検査結果
別表2の通り

⑥ 措置等

抗生物質等の残留が認められた各自治体においては、農政部局、家畜保健衛生所等を通じて、生産者の指導を実施した。

(別表 1)

平成7年度輸入畜水産食品中の残留物質モニタリング検査結果

	牛肉	豚肉	馬肉	羊肉	鶏肉	ウナギ	エビ	サケ・マス	液卵	計
検体数	608	655	33	35	480 (1)	45	239	38	18	2,151 (1)
検査物質	608	655	33	35	480	45	239	38	18	2,151
1 抗生物質										
2 合成抗菌剤										
スルファメゾール	165	156	8	8	99	8		5	6	455
スルファジミジン	165	156	8	8	99	8		5	6	455
スルファモノトキシム	165	156	8	8	99	8		5	6	455
スルファジノトキシム	165	156	8	8	99	8		5	6	455
スルファキノキサリン	165	156	8	8	99	8		5	6	455
オキシリン酸						8	61	5		74
オルネプリム		156			99				6	261
トリメプリム		156			99				6	261
ヒリメタジン		156			99				6	261
ジアラジン		156	8							164
ナイカルハジン					99				6	105
クロビドール					99 (1)				6	105 (1)
3 残留農薬										
DDT	133	102	5	6	57				1	304
デイルトリン	133	102	5	6	57				1	304
ヘブタクロール	133	102	5	6	57				1	304
検査項目総数	1,832	2,365	96	93	1,641	93	300	68	81	6,569

注意: 検査物質の合成抗菌剤の欄の()内数値は、検出された検体数を示す。

(別表 2)

平成7年度国産畜水産食品中の残留物質モニタリング検査結果

	牛肉	豚肉(腎、筋)	鶏肉(腎、筋)	鶏卵	ハチミツ	ブリ	マダイ	キンサケ	コイ	ニジマス	アユ	ウナギ	マアジ	テマリビラマ	クルマエビ	計	
検体数	1,745	4,011 (9)	(19) 2,882 (2)	(2) 756 (1)	327 (7)	98	116	20	70	97	81	109	20	11	26	44	10,413 (40)
検査物質	1,745	4,011 (8)	(7) 2,882	756	327 (7)	87	116	20	70	97	81	109	14	11	26	44	10,396 (22)
2 合成抗菌剤																	
スルファメゾリン	1,073	2,252	1,377	656		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008
スルファジミン	1,073	2,252 (1)	(11) 1,377	656		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008 (12)
スルファモノキシン	1,073	2,252	(1) 1,377	656		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008 (1)
スルファジメキシン	1,073	2,252	1,377 (1)	656 (1)		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008 (2)
スルファキノキサリン	1,073	2,252	1,377 (2)	656		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008 (2)
オキソリン酸	1,073	2,252	1,377 (1)	656		98	111	19	65	89	71	102	20	10	23	42	6,008 (1)
チアソフェニコール	1,073	2,252	1,377	656		98	111			89	71	102	20	10	23	42	6,008 (1)
オルメフロア		2,252	1,377	656							71	102					5,597
トリメフロア		2,252	1,377	656													4,458
ピリタミン		2,252	1,377	656													4,285
シフラソリン		2,252	1,377	656													4,285
フテゾリドン		2,252											20				2,252
													20				2,252
3 残留農薬																	
DDT	262	240	171														673
ディメトリン	262	240	171														673
ヘプタクロール	262	240	171														673
検査項目総数	10,042	31,755	17,165	7,316	327	773	893	134	460	631	578	823	154	81	164	296	71,592

注意:① 検査物質の抗生物質及び合成抗菌剤の欄の()内数値は、検出された検体数を示す。

② 豚肉、鶏肉の(腎)は、残留物質の残留しやすい部位であり、スクリーニング検査の検体としており、一般的に食用に供されているものではない。